

音楽科	第3学年	1年間の学習内容とねらい
-----	------	--------------

**音楽科の達成目標**

- 音や音楽への興味関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする意欲を身につけさせる。
- 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音との関わり合い、形式などや、速度・強弱の働きを知覚し、音楽の持つ曲想や美しさを感じ取る能力を身につけさせる。
- 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、曲に対する自分の解釈やイメージを、音を通して適切に表現していくため発声や楽器の扱い、読譜力などの基本的な表現の技能を身につけさせる。
- 楽曲の雰囲気や曲想と諸要素のはたらきによる効果、我が国の音楽および世界の諸民族の音楽の特徴などを感じ取らせる。

**評価の観点・方法**

- 【評価の観点】**
- 知識・技能
  - 思考・判断・表現
  - 主体的に学習に取り組む態度
- 【評価の方法】**
- 実技テスト(歌唱・器楽)
  - 実技テストのふりかえりカード
  - 鑑賞ワークシート
  - 自己評価・相互評価
  - 授業の取り組み
  - 定期テスト(年2回)

**特色ある学習方法**

- VTR等を利用した合唱の取り組み(合唱コンクールや卒業式の映像。)
- 伝統音楽を大切にする態度を育て、和楽器や郷土の音楽を取り入れた学習

	学習内容	学習のねらい
一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○《花》 (心の歌) 【歌唱】</li> <li>○スメタナ 《ブルタバ》 【鑑賞】</li> <li>○学年合唱曲 【歌唱・鑑賞】</li> <li>○アルトリコーダー 「虹の彼方に」 【器楽】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語の抑揚にあわせた旋律の美しさを感じ、2声に分かれたハーモニーを楽しみながら歌う。</li> <li>○自然や情景を想像し、曲の背景や歴史を理解して鑑賞する。</li> <li>○曲にふさわしい発声法を学び、表現を工夫して歌う。</li> <li>○歌詞の内容と曲想とのかかわり、曲の構成などの特徴を理解し、表現を工夫して合わせて歌う。</li> <li>○アルトリコーダーの運指と基礎的な奏法に慣れ、重なり合う響きを聴きながら演奏する。</li> </ul>
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポピュラー音楽 《聖者の行進》 《マンボNo.5》など 【器楽・鑑賞】</li> <li>○合唱コンクールの クラス曲 【歌唱】</li> <li>○カンツォーネ 「帰れソレントへ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々なジャンルのポピュラー音楽を聴き、その特徴や現代音楽の魅力を味わう。</li> <li>○声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、音楽の構成を生かした表現を工夫する。</li> <li>○曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫する。</li> </ul>
三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アルトリコーダー 「星に願いを」 【器楽】</li> <li>○卒業式歌《リフレイン》、卒業式答辞の 学年合唱《群青》 【歌唱・鑑賞】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アルトリコーダーの運指と基礎的な奏法に慣れ、重なり合う響きを聴きながら演奏する。</li> <li>○歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きを生かして表現を工夫する。</li> </ul>